



文化祭無事終了



9月30日(土)、10月1日(日)の2日間、『一生青春』のテーマのもと令和5年度文化祭が行われた。今年も、コロナ禍前と同様とまではいかないが、PTAOB会による食堂、PTAによる喫茶コーナーを設け、来場者の入場制限をせずに行った。運営にあたっては、来客を入れて開催するのが久しぶりであること、経験者のいない中でのPTAコーナーの実施ということなどで不安な面もあったが、皆様のご協力の甲斐あって無事に終了することができた。生徒は来年度に繋がる収穫であった。



△太鼓部×コーチの大洲さん率いる創作太鼓『響』のコーチ演奏



来場客や教職員、生徒による投票で決まる各賞は以下の通り。3年2組が随所で強さを見せた。

【クラス展示】
 最優秀賞 3年2組
 優秀賞 3年1組
 3位 1年1組
 教員賞 3年1組

【天下一舞踏会】
 最優秀賞 3年2組
 優秀賞 2年2組
 3位 3年1組

【仮装コンテスト】
 最優秀賞 3年2組
 優秀賞 3年1組
 3位 1年2組

八戸公園四季写真展入賞



第16回目の開催となる「八戸公園四季写真展」の表彰式が、10月9日(月)に行われ、本校写真部3名が出席した。今年の写真展応募者は、市内外45人、合わせて115点。この日、集まった入賞者たち一人ひとりに賞状と記念品が贈られた。表彰式の最後には、審査委員長の和田光弘様から各部門の上位作品について講評をいただいた。八戸市教育委員会教育長賞を受賞した松倉澤さんの作品は、「フレイミングが上手い。構図が良い」との評価をいただいた。写真展は、11月12日(日)までの午前9時から午後4時まで(最終日は午後3時まで)八戸公園緑の相談所で行われている。※毎週月曜日は休館

【八戸市教育委員会 教育長賞】2年 松倉 澤(第一中学校出身) 家族皆で出かけたときに撮影しました。機嫌が悪かった弟を妹が「高い高い」をしてあやし、笑顔にした一枚です。欲を言えばもう少し笑顔を抑りたかったということと手から高く離れている様子を表現したかったです。今後も家族のいろいろな表情を撮りたいです。

【青い森信用金庫賞】3年 戸田 裕樹(下長中学校出身) リスの表情、模様がよく写るよう意識して撮りました。賞をいただけ嬉しかったです。もっと上手く撮れるようになりたいと思いました。

【株式会社エフエム青森賞】2年 山田 梅禾(明治中学校出身) 公園内で多くの人を癒してくれる花、場所を撮りました。上手く撮影できたと嬉しいです。普段、花や空の写真を撮ることが多いので、今後は人物写真を撮ってみたいと思います。

アート活動



第9回東北障がい者芸術全国公募展(仙台市のせんだいメディアテークを会場として10月12日(木)から10月15日(日)の4日間開催)にて大澤亜矢さん(3年・第二中学校出身)の書「何」が「三井不動産賞」に選ばれた。9回目となる同展は社会生活において何らかのハンディがある人たちが制作した芸術作品が全国から寄せられ、毎年約800点もの作品が集まるといふ。会場には45都道府県から応募があった絵画や織物、工芸など1113作品のうち入選した130点が展示された。青森県内からは、大澤さんを含め2人が入賞を果たした。大澤さんは、難聴により普段から補聴器を使用しているが、授業や運動等すべての学校生活を楽しんで送っている。今回の作品は、日常生活で感じる「何だろう?」という感情を、小1から習っているという書で表現した。大澤さんの書は、七戸町立鷹山宇一記念美術館において10月21日(土)から11月12日(日)まで(10時から18時)展示される。青森県では初となる同展は現在開催中。※最終日は17時まで

第102回全国高校サッカー選手権大会青森県大会



第102回全国高校サッカー選手権大会2次予選青森県大会が10月21日(土)から始まり、本校は一回戦八戸北高に3対0で勝利。続く22日(日)二回戦は、八戸西高と対戦。2点リードされ、残り時間が少なくなる中セツトプレーから1点も取ったが、惜しくも1対2で敗れた。当日は、時折冷たい風が吹く中、多くの保護者が応援に駆けつけた。試合終了のホイッスルが鳴ると、その場に崩れ落ちた3年生たち。立ち上がれない先輩たちを後輩がサポートする姿は観客の涙を誘った。最後まで雄姿を見せてくれた3年生、人数の多さもあるが、部活動が休みの日も自主練習をしたり、個のレベルを上げようとグラウンドに立つ姿が思い出される。今回二回戦で敗退となったが、1部昇格や県3位までこれたのは、これまでの先輩たちのおかげでもあり、間違いなく君たちの頑張りの結果でもある。しかし、負けたのは原因があることも確か。たくさんの方の応援を力に変え、まだまだ強くならねば。

研修旅行~ポケモン列車で三陸旅~



10月8日(日)、PTA研修旅行が4年ぶりに行われた。東日本大震災からの復興応援を兼ね、参加者たちは久慈駅からポケモン列車に乗り、海岸線の旅を満喫した。途中、堀内駅近くで通過する高さ30メートルの大沢橋梁で列車が一時停止すると、車窓から広大な太平洋を一望し感嘆の声が上がった。昼食は、震災時に3階まで波が押し寄せたという全館オーシャンビューのホテル「羅賀荘」で海の幸を堪能。その後は、秋の北山崎を散策した。最後は、ポケモンをモチーフにした遊具で遊べる道の駅「いわて北三陸」イシツブテ公園で買い物を楽しんだ。文化祭からそれほど期間もなく、数年ぶりの開催であることから参加者は少なかったが、PTAOB会、PTAともに有意義な時間を過ごした。

10月10日(火)
レックス・スポーツ・山講座
ボウリングコース

場所 ゆりの木ボウル

1年 籠田 博彬(第一中学校出身)
私は、ボウリングのルールを知りませんでした。初めは全くピンを倒すこともできず、ガターばかりでしたが、回数を重ねることに倒せるようになりまし。スベアも取ることができました。しかし、周りには上手い人がたくさんいて、自分もその人たちのように上手くなりたいと思いました。

1年 八田 真斗(白山台中学校出身)
久しぶりにボウリングをやりましたが、意外と難しかったです。ボウリング場に来ている人に目を向けると、プレイが安定していて凄いなと思いました。打球はなかなか上手い。スベアも取ることができ、突き指を打つ意図は、級友の意外な一面を見ることができて楽しく活動できました。



1年 末次 隼士(横浜市立荏田南中学校出身)
私は、以前一度だけボウリングをしたことがある。その時は、ボウリングの細かいルールをあまり知らずにやっていたのだと、今回の体験でわかりました。ボウリングにはいろいろなルールや良いスコアを出すための工夫などがあり、それを知ったうえで、ボウリングをすることができると良かったです。各自の投げ方やレーンの特徴を意識しながらやると、ピンを倒しやすくなり、驚きました。講座前は、真ん中のピン



を狙って投げていましたが、自分の場合は、真ん中より一つ右を狙ってボールを投げるとストライクが出やすいと知り、勉強になりました。ちょっとした工夫で以前のスコアを大きく超えることができて良かったです。



2年 三浦 未希(是川中学校出身)
最初にボウリングのルール、マナー、ボールの投げ方、スコアのつけ方を教わりました。今まで、スコアをどのようにつけるのかわかりませんでした。講師の方が優しく教えてくれたので覚えることができました。その後、ボウリングのピンを立てる機械を見学しました。倒れたピンがエレベーターのように上がって立てられて行くときの音がとても大きくて驚きました。打球練習後、お昼休憩を挟みゲームをしました。真つすぐ行かなかったり、当たっても倒れなかったりして難しかったですが、最後にはスベアを出すことができて嬉しかったです。

【2ゲーム合計順位】
1位 3年 山家 昌悟(平塚市立十沢中学校出身)
2位 1年 菊地 遙斗(白山台中学校出身)
3位 2年 富田 奏翔(目黒区立大島中学校出身)
4位 3年 大澤 亜天(第二中学校出身)
5位 2年 高際 真愛(白銀南中学校出身)
6位 1年 末次 隼士(横浜市立荏田南中学校出身)

バッティングコース

場所 ベースボールスタジアム

2年 上野山 凱大(第二中学校出身)
私は野球が大好きなので、今回の講座に自信を持って臨みました。しかし、気持ちが高ぶります。一人テンションが上がっているような感じでした。そこで、同じコースの人たちとキャッチボールをしたりしてバッティングだけでなく



野球を皆で楽しむことにしました。1年生がいなかったのが寂しかったですが、先輩と一緒にプレーできたのは本当に良かったです。また、ベースボールスタジアムの方には感謝しかありません。本来、11時からの営業を私たちがのために早くして下さったり、一般の方々も私たちに場所を譲って下さったりと感激することばかりでした。そうした中でも遠くへ飛ばす一般の方々の姿は格好良かったです。来年もベースボールスタジアムで打撃と他学年との交流を楽しみたいです。

3年 中村 俊太(第一中学校出身)
2年ぶりにバッティングをやりました。最初は、ボールが速くて当てるのができなかった。遅い球には当てることができました。変化球も打つことができました。野球選手はこれより速いスピードのボールを狙って打ったり、ホームランにしたりして凄いなと思いました。今回の講座で、普段やらないスポーツをすることができました。自分がやっているものだけでなく違うスポーツの楽しさを知ることができましたし、よりたくさんスポーツを楽しみたいと思いました。

ボルダリングコース

場所 2ND WALLY 八戸

2年 淡路 歩果(小中野中学校出身)
初めてボルダリングに挑戦しました。怪我をしないよう気をつけていたつもりでしたが、手首やひざ下をぶつけてあざになっていました。今回、ボルダリングのスタートの仕方が2種類あることを初めて知りました。自分ができたのは、AからCまででしたが、Dにも挑戦しました。Dは、持ち手の難易度が上がり、足場も滑りやすく非常に難しかったです。高くて怖いと

思ってしまう時もありましたが、回数を重ねるにつれて慣れていくことができました。

3年 伊藤 柊香(根城中学校出身)
まず登る前に、実際のサイズより2、3センチ小さいシューズを履きました。そうすると足の感覚が際立って登りやすかったです。講師の方が言っていました。最初は違和感を覚えたんですが、履いているうちに慣れていきました。午前はボルダリングのルールを学び、実践しました。ルールは、壁に書いてあるアルファベットを登り、sizeと書かれているところに、両手をあてて3秒保てばクリアになります。注意すべきは、sizeと書かれているところに手を置く際は、必ず地面に足を着かないようにすることです。そうしないと始まったことにはならないので意識して取り組みました。実際登ると、最初は簡単で楽しいと思いましたが、Fは難しく何度挑戦してもクリアはできませんでした。午後は2チームに分かれて、ゴールに先に到着した方が勝ちとなるゲームを行いました。4回連続で負けて悔しかったです。罰ゲームもありましたが、皆で楽しく交流することができました。残り時間は自由に登りました。午前中にできなかったFは、後輩に教えてもらい無事クリアできたので嬉しかったです。



1年 山本 愛莉(根城中学校出身)
最初、トランポリンに乗った時は、なかなか感覚がつかめませんでした。少しずついろいろな技に挑戦することによって徐々にトランポリンに慣れていきました。また、技に

トランポリンコース

場所 本校体育館

挑戦する前は、講師の方が手本を見せて下さいました。講師の方の跳び方に注目し、また技の迫力に驚きながら見ていました。今回、初トランポリンだったので、難易度の高い技はあまり上手くできませんでしたが、自分の中では十分に楽しむことができました。今までわからなかったトランポリンの技を複数知ることができたので良かったです。

2年 山本 真央(下長中学校出身)
今回は、事故のないように気をつけながら、積極的に取り組むことを目標に参加しました。去年もトランポリンをやりましたが、一年ぶりだったので体が慣れるまで時間が掛かりました。普通に跳ねるのは簡単でしたが、跳ねながら反対方向に回るなど別の動きが入ると、少し怖かったし難しかったです。トランポリンは楽しいようで、怪我をしないように、バランスを崩さないように注意しながらやらないといけない。事故に繋がる可能性があるがあるので注意を切らさないと大切だと思いました。

3年 田所 涼太(根城市立田名中学校出身)
初めてトランポリンに挑戦しました。トランポリン上は、バランスを取るのが難しく、特に最初の跳躍が、前や横などに移動してしまいました。バランスが取れないため、視線も下向きになっていたので、前を向くようにしてみると、バランスよく跳ぶことができました。徐々にトランポリンに慣れ、いろいろな技にもチャレンジしました。腰落ちという技は、お尻と足を平行にして同じタイミングで着かないと立つことが難しかったです。連続技もやってみましたが、技の順番を覚えるのが大変でした。最後に講師の方が、宙返りをしたり、半周したりといろいろな技を組み合わせせて見せてくれた演技は凄かったです。

